

— 開 会 —

式典…「司会」吟剣詩舞道部会 副会長 阿部祥勝（祥刀流祥煌館館長）
吟剣詩舞発表

プ ロ グ ラ ム

1. 吟詠「日本の秋を詠う」 企画・演出 岳心流上毛岳心会

日本の秋は多くの人々が秋を好む。天高く馬肥ゆる秋、スポーツの秋、実りの秋、そして紅葉の秋です。

今回は古今の詩歌の作者、俳人達のそれぞれの秋を詠った作品を鑑賞し楽しみたいと思います。

- ①（絶句）新涼書を読む「菊池三溪」 ⑤（和歌）しんとして「石川啄木」
②（絶句）仲秋観月行「和田南海」 ⑥（和歌）ふるさとの「若山牧水」
③（俳句）とんぼつり「加賀の千代女」 ⑦（構成詞）秋色信濃路「角光嘯堂」
④（俳句）白菊や「勝見二柳」

2. 詩舞二題 企画・演出 祥刀流祥煌館

- ① 梅は一名「好分木」と言われる、文のみで武がないのではない。雪のある残寒の初春に、百花に魁けて春を独占している姿は、雄々しく、頼もしく、まさに勇ましい力である。
「弘道館に梅花を賞す」 （詩舞） 田端祥肇、渡辺祥倅
② 雄大な霊峰富士は、土地も霊妙。人物も傑出している我が神州を、よく象徴しているとの信念である。
「富 嶽」 （詩舞） 林 祥援

3. 吟詠「構成吟・緑」 企画・演出 心彰流愛吟詩道会

- ①（律詩）大楠公「河野天籟」 ④（律詩）青山の歌「頼 山陽」
②（絶句）家兄に寄せて志を言う「広瀬武夫」 ⑤（絶句）貧交行「杜 甫」
③（絶句）汪倫に贈る「李 白」 ⑥（絶句）宝 船「藤野君山」

4. 詩舞二題 企画・演出 心彰流詩舞扇彰会

- ① 真田武士 （舞） 白川節童
② 白鷺の城 （舞） 小暮啓麗

5. ふれあい体験・幼少青年

- ① 歌謡吟詠 岳心流上毛岳心会
母を憶う「網谷一才」 （吟）中居洋峰
② 詩 舞 至心流 剣詩舞前橋支部
江南の春 （舞）高橋明莉 （吟）津久井里奈（正峰流吟道会）
③ 剣 舞 心彰流 剣彰会
白虎隊 （剣）岡本 桜
④ 詩舞 至心流 剣詩舞前橋支部
（短歌）東風吹かば （舞）津久井明悠
⑤ 剣舞 心彰流 剣彰会
九月十三夜陣中の作 （剣）阿久澤剣耀

6. 吟詠四題 企画・演出 （公）日本吟道学院公認、群馬吟道会

秋は黄や赤に色を染める紅葉の季節。この季節は「行楽が楽しめて好き」と、「もの恋しいから嫌い」と人様々。漢詩・俳句・新体詩・歌謡吟でいろいろな秋を感じ取って頂きたいと思います。

- ① 秋 思 長谷川龍優 ほか ③ 芒の唄 高山龍聖 ほか
② 秋なれや・とんぼつり 片倉龍順 ほか ④（歌謡吟詠）旅 愁 （吟）吉田龍風 ほか
（舞）石井俱城

7. 剣舞二題 企画・演出 心彰流 剣彰会

- ①「風林火山」で有名な武田信玄の戦いぶりと生きざまを唄った歌謡吟詠を。
「武田節」 （剣舞）岡本有理 他2名
② 鎌倉末期、後醍醐天皇の幕府倒幕に尽くした人物、楠木正成はもし泰平の世に生まれていれば国を引張るような立派な人物であった。
「楠公を詠ず」 （剣舞）藤井剣帥 他1名

8. 剣舞と詩舞 企画・演出 至心流 剣詩舞前橋支部

- ① 我が神州日本に気高いくらいの魂をもった聖人がいる。その名は楠木正成公という。どうしたはずみか誤まって戦乱の世に生まれ剣をひっさげて賊将どもを成敗して英雄となった。
「楠公を詠ず」 （剣舞）宮田清瑛・高橋清峰
② この詩は春雨の中で壇の浦の海に入水された安徳天皇の御魂を弔ったもの。
「壇の浦を過ぐ」 （詩舞）松坂明耀・高橋洲妃
③ 国に報いようとする我々の真心は、かの楠木正成・正季兄弟のごとく七たび此の世に人間として生まれ代わって逆賊を滅ぼそうとする覚悟そのものである。
「家兄に寄せて志を言う」 （剣舞）高橋清幸・會田清空

9. 華麗なる吟と舞

- (1)（公）日本吟道学院公認、群馬吟道会 (6) 心彰流剣彰会
歌謡吟詠「悲しい酒」 長谷川龍優 歌謡吟詠「白鷺の城」 （吟）萩原鋭彰
（剣舞）茂木彰寛 他五名
(2) 心彰流詩舞扇彰会
歌謡吟詠「日本男児」 （舞）前島麗洲 (7) 岳心流上毛岳心会
(3) 祥刀流祥煌館 歌謡吟詠「那須与一宗高」 倉持聖心
剣舞「楠公を詠ず」 寺崎祥滉 (8) 井上武士を詠う
(4) 至心流剣詩舞前橋支部 「前橋市五代町出身の作曲家の代表曲」を
上毛岳心会が詠ってみます。
剣舞「平忠度」 高橋清洲 文部省唱歌「うみ」 和歌「大海の」入り
(5) 心彰流愛吟詩道会
歌謡吟詠「若獅子の舞」 鈴木心琉
歌謡吟詠「信 長」 （吟）藤原心姿
（舞）高田禎彰

10. 大合吟「富 士 山」：倉持聖心

— 閉 会 —

副会長 阿部祥勝